

新しい生活様式を追い風に

サイクルスポーツの聖地実現へ加速

「スポーツの聖地づくり」を合言葉に、スポーツの普及や交流を目指す静岡県は、県民がスポーツに親しむ環境づくりやトップアスリートの育成を積極的に行っている。今回は、サイクルスポーツの聖地実現に向けた取り組みの成果と展望を紹介する。

サイクリスト憧れの地

「静岡県サイクルスポーツ協議会」を平成30年、「静岡県サイクルスポーツの聖地創造会議」に拡大再編した県は、サイクリストの憧れを呼ぶ聖地「ふじのくに」の実現を目指し、「競技振興」「サイクルツーリズムの推進」「走行空間の整備」「自転車利用の裾野拡大・安全推進」に取り組んできた。描く聖地像は、「国内外から多くのサイクリストが訪れて交流する地域」と「住民の多くが自転車に親しみ、サイクリストを理解し、温かくもてなす地域」だ。

県は、国際的な自転車レースの誘致・開催や自転車競技者の育成などにより競技振興を図

りながら、世界クラスの資源群を巡るモデルルートの設定でサイクルツーリズムを盛り上げ、矢羽根型路面表示の施工などで走行空間の整備を行ってきた。

休憩・修理・緊急時に利用できるスポットであるバイシクルピットは県全域で542箇所まで増設。スポーツタイプ電動アシスト付き自転車「e-BIKE」のレンタル台数もこの数年で41台から209台に増台した。交通ルール・走行マナーの周知や安全利用の啓発といったソフト面の強化も市町などと連携する形で行っている。

こうした下地づくりが進む中、東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技の県

内の高まりは、聖地化をさらに加速させる。平成29年にオリンピック代表選手を擁するプロ自転車競技チーム「チームブリヂストンサイクリング」が三島市に本拠地を構え、令和2年には富士市に地域密着型のプロ自転車競技チーム「レバンテフジ静岡」が誕生。まさに国内外のサイクリストが憧れる聖地のイメージだ。

コロナ禍での都道府県唯一の認定と裾野拡大の取り組み

コロナ禍で新しい生活様式が求められる中、自転車通勤が見直されている。県は昨年8月、国の事業「自転車通勤推進企業宣言プロジェクト」の宣言企業として、都道府県で唯一、認定を受けた。認定要件は、駐輪場の確



スポーツバイクをレンタルできる施設(MERIDA X BASE)。伊豆・東部地域はe-BIKEのレンタル施設が特に充実しており、サイクルスポーツの楽しさを最適な環境で体験できる。



▲動画QRコード
県は自転車を利用する観光客に向けて、観光施設や自転車ならではの楽しみ方を紹介する動画を作成。交通ルールやマナーなども説明し、安全で快適な自転車の利用に繋げていく。

保、交通安全教育の実施、保険加入の義務化で、県は3密を避けた新しい生活様式としても、企業などの自転車利用を促進している。

一方、サイクルスポーツに親しむ環境づくりも進む。県は昨年11月、万全な新型コロナウイルス感染症対策を施し、「ふじのくにスポーツカフェ」を富士市で開催。「レバンテフジ静岡」の佐野淳哉選手を招き、自転車競技の奥深さや、サイクルスポーツを通じて得られるさまざまな効果についてトークショーを行った。



ふじのくにスポーツカフェでは、MCの高橋正純氏と佐野選手の軽快なトークでサイクルスポーツの魅力を発信した。

県全域に広がる聖地化

聖地化に向けた拠点となる、日本サイクルスポーツセンター(伊豆市)は、初心者からトップアスリートまでが利用することができる「自転車トレーニングヴィレッジ」としての活用を目指す。競技力向上の場であり、競技大会の開催地で、県民が自転車やスポーツに親しむ場でもある施設として利活用の検討が進む。また、富士スピードウェイ(小山町)を含む周辺地域は、国際ロードレース大会の開催地や国際的なサイクルツーリズムの目的地になることを目指した計画が描かれている。

さらに「富士山・伊豆サイクリングチャンネル」を開設し、観光として訪れる初心者サイクリストに向けて、e-BIKEを活用した動画をYouTubeで配信。密を避けて楽しめるサイクリングの魅力を発信している。他にも電力会社が富士山南麓にある送電線巡視路をMTBトレイルコースとして整備するなど、伊豆・東部地域では、官民一体で聖地化への動きが進んでいる。

県西部地域の聖地化も進行中だ。県はナショナルサイクルルートの候補となった太平洋岸自転車道を活用して周辺地域へ向かうコースを試走を実施。アフターコロナを見据え、愛知県などへ向かう県境を越える広域サイクリングという新しい観光商品へとつなげていく。今や浜名湖一周サイクリングは、富士山周遊とともに国内外のサイクリストが憧れるコースだ。浜松市を拠点に活動するNPO法人「地域づくりサポーターネット」の代表理事・山内秀彦さんは「西部では、宿、飲食店、観光地などに加え、企業や団体も一体になってサイクルツーリズムを盛り上げています。自転車をスポーツとして捉えるだけでなく、誰もが気軽に楽しめるレジャーや見どころを巡る移動のツールとして、あるいは交流の手段として広めていくことも大切です」と語る。

伊豆半島、富士山、浜名湖など、豊かな自然に恵まれた本県は、スポーツ、レジャー、そして移動手段としても、サイクリストに適した環境や条件を持つ。聖地化への展望は広がっていく。



浜名湖周辺での、自転車をテーマにした映画のロケ地を巡るガイドツアー。新しい生活様式に対応した観光地域づくりが進む。



富士山麓を東西に延びる巡視路を活用した約7kmのコース(Fujiyama Power-line Trail)。岩場や砂利道などの路面状況の変化が大きく本格的なライドを満喫できる。

